

小松島商工会議所 商業部会 議事録

日時：平成 31 年 1 月 8 日（火） 午後 4 時から

場所：小松島商工会議所 会議室

出席者：商業部（13 名）、事務局（2 名）

1. 開会

2. 挨拶

商業部会丸 2 年

オンリーワン事業として

冊子、HP、商工会議所 HP を連動させたものができあがります。

また、社会学、地理学、伴走型 6 回の講座など行ってきました。

3. 議題

（1）オンリーワン事業

現状報告

小松島の歴史ロマンとしてカメラマンの内藤忠行氏に写真を撮っていただいた

お散歩マップと歴史ロマンと連動したものにしてい

マスターブック最終デザイン

修正終わり次第データ承諾を得て印刷に入る

B5 横長 7000 部 無料配布

講座についてはすべて完了

マスターブックの時間が押したため補助金減額となる予定

また補助金最終判断についてはまだどうなるのかは不明な状況

地域経済活性化につながる配布先

誘客だけで止まらず利益に繋げていく

（2）来年度

小松島の良くなるための 20 の方法を次回までに考えておく

→SWOT 分析

強いところ弱いところの分析を行い組み合わせにより新たな方針に繋げていく

経営者自らが学び会社や地域を良くしていく

講座などではインプットだけではなくアウトプットすることにより実際に

自分のものにしていく。

中小企業振興条例による会議（官民学）

→この会議のためのいろいろな意見などを出し合う場を作れたら

実際に参加してみるといい内容だった（いい意味で裏切られた）

グループワークの意見交換会によってお互いカバーしあえることもあるのでは

話合いなどの中で新しいことを地域の中で起こしていけるのではという期待

場を設けることが大事

歴史の部分に興味を持っていただきいろいろな人に知られてきてくれるようになれば
誠意が大切

課題を決めて話をしていくことが大切

勉強をしていきたい

小さなグループで話をしていたものをまとめていくような形のほうが話は
まとまりやすいと思う。

個人個人の会社が連携できれば小松島もよくなっていくと思う。

グループ討論がここだけのものではなく自社の会議などでも役にたつと思われる。

議論の場が必要。自分の商売仕事などに役立つこともあると思う。

全体、指針、意見の場などを作っていく。

いろいろな団体が繋がり交流をしながら小松島の発展に繋げていければ。

4. その他

次回2月19日(火) 16:00～

※小松島の良い点や良くなる方法について2グループに分けて意見を出した

Aグループ

- 徳島市に近い
- 街がコンパクト
- マスターブックにあるように古代歴史がある
- お米が多い(農産物多い、しいたけ・お米・トマト・キュウリなど)
- 海産物が多い(ちりめん・わかめなど)
- ラーメンがおいしい(しょうゆとんこつ)
- 大きい花火屋さんが2つある
- 競輪がある
- ちくわがある(フィッシュカツがある)
- お寺の18・19番札所がある
- 南小松島駅前の水に行列が出来ている。地藏寺
- 日赤がある
- 人口に対してストアが多い(オーバーストア)
- 大型の船が着くようになった
- 海上保安庁がある
- 自衛隊がある
- 金長大明神と巨大なたぬきがある
- 義経像がある
- 民間航空発祥の地 幾原さん

Bグループ

- 自分達が勉強する
- ネットワーク・情報発信によりつながる（組織的な）
- 市の職員2分の1にする
- 歴史
- 歴史を色々集めて阿里山で何かをつくる
- ポテンシャルはある場所だと感じる
- 各々のスペシャリストを集めて、そこから拡げていく